

汚染水等構内溜まり水の状況（2019.10.24時点）

リスク総点検より抜粋・改訂

No.	箇所	対象	場所	量(m³)	放射性物質濃度[Bq/L]	備考
1-1	2号機大物搬入口屋上	・2号機大物搬入口屋上	建屋エリアに存在する建屋	降雨量により変動	【2階】 Cs134: <1.0E1 Cs137: 2.1E1 全β: 2.6E1 H3: 1.0E2 (2015.11.2) 【1階】 Cs134: 1.1E1 Cs137: 4.0E1 全β: 4.1E1 H3: 1.1E2 (2015.11.2)	
1-2	2号機R／B	2号機R／B	建屋エリアに存在する建屋	降雨量により変動	【上屋】 Cs134: 200～340 Cs137: 650～1100 全β: 920～1900 Sr90: 10～20 H3: ND(<100) (2015.1.16)	
2	5.6号機貯留タンク(フランジタンク)	・5.6号機貯留タンク(フランジタンク)	6号機北側	約9,300 (2019.7時点)	Cs134: 2.6E0 Cs137: 3.9E1 (2019.9.10)	5・6号建屋滞留水・RO処理水を貯留 (5・6号機建屋滞留水処理設備として運用中のため、量は変動する)
3	5.6号機貯留タンク(溶接タンク)	・5.6号機貯留タンク(溶接タンク)	6号機北側	約5000 (2015.4.16時点)	Cs134: 7.7E0 Cs137: 4.3E1 (2016.10.3)	5・6号建屋滞留水を貯留
4-1	吸着塔一時保管施設(HIC)	・吸着塔一時保管施設(第二施設、第三施設)	・吸着塔一時保管施設(第二施設、第三施設)	0 (ボックスカルバート内の水は拭き取り実施済み、HIC内上澄み水水抜き実施済み) (2018.9)	【No.172 (AJ5)蓋外周部(他調査中であったが2015年11月に調査完了)】 Cs134: 1.9E+3 Cs137: 6.8E+3 全β: 3.0E+6 (2015.4.2)	水抜き済
4-2	吸着塔一時保管施設	水処理二次廃棄物(SARRY、KURION、ALPS処理カラム、モバイル式処理装置)	吸着塔一時保管施設(第一施設、第四施設)	1程度(1基あたり)	Cs137: 2.0E3～1.6E7 Sr90: 5.3E3～4.3E7 (2017.2～2017.3)	
5	No.1ろ過水タンク (RO濃縮塩水／溶接タンク)	・No.1ろ過水タンク (RO濃縮塩水／溶接タンク)	屋外(タンクエリア)	0 (2015年8月水抜き完了)	【No.1ろ過水タンク】 Cs-134: 2.3E+03 Cs-137: 4.3E+03 全β: 6.6E+07 (2013.11.19)	過去、RO濃縮水を貯留 現在は水抜き済
6	4000tノッチタンク (角型タンク)	・4000tノッチタンク	タンクエリア	0 (2018.5.7時点)	【3000tノッチタンク】 撤去済 【1000tノッチタンク】 水抜き済	水抜き済
7	濃縮水タンク (蒸発濃縮装置濃縮水)	蒸発濃縮装置濃縮水用ノッチタンク (スラリー／濃縮水)	タンクエリア (Cエリア)	約65※1 (2019.2.1時点)	【蒸発濃縮装置濃縮水】 Cs134: 1.7E4 Cs137: 2.5E4 全β: 4.7E8 (2011.12.20)	蒸発濃縮装置濃縮水を貯留 ※1: 全5タンクの水量を 実測して算出
8	淡水貯留タンク (G1エリア地下タンク)	・淡水貯留タンク (横置きタンク)	タンクエリア	— (2017.8時点)	—	撤去済
9	5、6号機逆洗弁ビット及び吐出弁ビット	・5号機ポンプ室循環水ポンプ吐出弁ビット ・6号機ポンプ室循環水ポンプ吐出弁ビット ・5号機逆洗弁ビット ・6号機逆洗弁ビット	5、6号タービン建屋海側 5、6号機スクリーン近傍	(5号機循環水ポンプ吐出弁ビット) 約550 (6号機循環水ポンプ吐出弁ビット) 約850 (5号機逆洗弁ビット) 約1,500 (6号機逆洗弁ビット) 約1,500	【5号機循環水ポンプ吐出弁ビット】 (2016.10.5) Cs134: ND Cs137: 3.4E0 【6号機循環水ポンプ吐出弁ビット】 (2016.10.5) Cs134: ND Cs137: 3.7E0 【5号機逆洗弁ビット】 (2016.10.3) Cs134: 3.0E0 Cs137: 1.9E1 【6号機逆洗弁ビット】 (2016.10.3) Cs134: 1.5E0 Cs137: 1.1E1	

汚染水等構内溜まり水の状況（2019.10.24時点）

リスク総点検より抜粋・改訂

No.	箇所	対象	場所	量(m³)	放射性物質濃度[Bq/L]	備考
10	1～4号機T/B屋根	・1号機T/B ・2号機T/B	建屋エリアに存在する建屋	降雨量により変動	【1号機T/B上屋】 Cs134: 1.4E1 Cs137: 2.5E2 全β: 2.9E2 (2018.4.25) 【2号機T/B上屋】 Cs134: 4.4E0 Cs137: 4.8E1 全β: 5.9E1 (2018.4.25)	
11	1号CSTタンク (溶接タンク)	・1号CSTタンク (溶接タンク)	屋外(建屋エリア)	約740 (2016.10.26)	Cs134: 2.9E+4 Cs137: 1.9E+5 全β: 2.2E+5 (2016.11.7)	RO処理水を貯留
12	2号CSTタンク (溶接タンク)	・2号CSTタンク (溶接タンク)	屋外(建屋エリア)	約1990 (2019.1.28)	Cs134: 1.6E+02 Cs137: 1.7E+03 (2018.12.14) 全β: 1.5E+03 (2018.12.19)	過去、T/B地下の滞留水を貯留 現在はRO処理水を貯留 (炉注ポンプ水源として使用するための準備中)
13	3号CSTタンク (溶接タンク)	・3号CSTタンク (溶接タンク)	屋外(建屋エリア)	約2130 (2019.7.16)	【CST入口水(淡水化装置出口水)】 (2019.7.2) H3: 1.0E6 Sr90: ND 【CST貯留水】 (2015.7.16) Cs134: 2.1E+3 Cs137: 8.0E+3	RO処理水を貯留 (1～3号機CST炉注水ポンプ水源として運用中のため、量は変動する)
14	4号CSTタンク (溶接タンク)	4号CSTタンク (溶接タンク)	屋外(建屋エリア)	0	Cs134: ND Cs137: 1.0E0 全β: ND H3: 7.8E4 (2019.2.14)	水抜き済
15	地下貯水槽	地下貯水槽No. 1	タンクエリア	—	【RO濃縮水貯水実績あり】 全β: 1.3E6 (2018.9.12) (参考: 漏えい検知孔水) 全β: 4.9E4 4.3E4 (2019.9.4) (2019.10.8) H3: ND (2019.9.4)	水位計の計測限界水深未満(一部残水あり) (2018.9.26時点)
16	地下貯水槽	地下貯水槽No. 2	タンクエリア	—	【RO濃縮水貯水実績あり】 全β: 3.1E6 (2018.9.12) (参考: 漏えい検知孔水) 全β: 6.7E3 1.2E4 (2019.9.4) (2019.10.8) H3: ND (2019.9.4)	水位計の計測限界水深未満(一部残水あり) (2018.9.26時点)
17	地下貯水槽	地下貯水槽No. 3	タンクエリア	—	【RO濃縮水貯水実績あり】 全β: 3.2E6 (2018.9.11) (参考: 漏えい検知孔水) 全β: 1.1E4 3.7E4 (2019.9.5) (2019.10.11) H3: ND (2019.9.5)	水位計の計測限界水深未満(一部残水あり) (2018.9.26時点)
18	地下貯水槽	地下貯水槽No. 4	タンクエリア	—	【タンク堰内雨水貯水実績あり】 全β: 2.8E4 (2018.9.12)	水位計の計測限界水深未満(一部残水あり) (2018.9.26時点)
19	地下貯水槽	地下貯水槽No. 5	タンクエリア	撤去完了	【使用実績なし(水張試験のみ)】 —	撤去済
20	地下貯水槽	地下貯水槽No. 6	タンクエリア	—	【RO濃縮水貯水実績あり】 全β: 7.8E6 (2018.9.11) (参考: 漏えい検知孔水) 全β: 4.5E1 (2019.9.5) H3: ND (2019.9.5)	水位計の計測限界水深未満(一部残水あり) (2018.9.26時点)

汚染水等構内溜まり水の状況（2019.10.24時点）

リスク総点検より抜粋・改訂

No.	箇所	対象	場所	量(m³)	放射性物質濃度[Bq/L]	備考
21	地下貯水槽	地下貯水槽No. 7	タンクエリア	—	【タンク堰内雨水貯水実績あり】 全β: 1.5E2 (2018.9.12)	水位計の計測限界水深未満(一部残水あり) (2018.9.26時点)
22	1-4号建屋接続トレンチ	・1号機コントロールケーブルダクト ・集中環境施設廃棄物系共通配管ダクト(2号機廃棄物系共通配管ダクト) ・1号機薬品タンク連絡ダクト 等	1～4号機周辺	約1～400 (2019.5)	Cs134: 2.7E0～5.8E2 Cs137: 3.4E1～7.6E3 全β: 4.9E1～6.6E3 H3: ND～4.1E4 (2018.11～2019.1)	集中環境施設廃棄物系共通配管ダクト(凍土壁外)の水抜き・充填完了 (残水量: 約400m³) 量及び放射性物質濃度の内訳は添付資料(1)「2018年度トレンチ等内溜まり水調査結果一覧」を参照
23	2～4号機DG連絡ダクト	・2～4号機DG連絡ダクト	2～4号機山側	約1600 (2018.12.12)	Cs134: 7.1E0 Cs137: 7.1E1 全β: 7.6E1 H3: 6.2E2 (2019.5.24)	
24-1	1号機海水配管トレンチ	・1号機海水配管トレンチ	1号機タービン建屋海側	約400 (2018.12.19時点)	Cs134: 2.9E0 Cs137: 4.5E1 全β: 5.6E1 (2018.12.18)	
24-2	2号機海水配管トレンチ	・2号機海水配管トレンチ	2号機タービン建屋海側	0 (2019.8.2時点)	(建屋接続部近傍) Cs134: 1.4E7 Cs137: 1.8E8 H3: 6.8E5 全β: 1.8E8 (2019.4.18)	水抜き・充填済 (建屋接続部近傍を含む)
25-1	3号機海水配管トレンチ	・3号機海水配管トレンチ	3号機タービン建屋海側	0 ^(注) (2015.7.30時点) (注)立坑D上部を除く	— 【立坑D】 Cs134: 5.6E5 全β: 4.2E6 (2015.2.27) Cs137: 1.9E6 H3: 1.5E5	充填済 (立坑D上部を除く)
25-2	4号機海水配管トレンチ	・4号機海水配管トレンチ	4号機タービン建屋海側	0 ^(注) (2015.12) (注)建屋接続部及び建屋接続部近傍の開口部を除く	—	充填済 (建屋接続部近傍及び建屋接続部近傍の開口部を除く)
26	3号機起動用変圧器ケーブルダクト	・3号機起動用変圧器ケーブルダクト	3号機山側	約830 (2018.12.10)	Cs134: 4.8E1 Cs137: 4.0E2 全β: 4.4E2 H3: ND (2017.10)	
27	廃棄物処理建屋間連絡ダクト	・廃棄物処理建屋間連絡ダクト	プロセス主建屋北側	充填完了	—	充填済
28	1-4号建屋未接続トレンチ	・2号機変圧器防災用トレンチ ・消火配管トレンチ(3号機東側) ・1号機主変圧器ケーブルダクト ・1号機廃液サージタンク連絡ダクト ・1号機オフガス配管ダクト 等	1-4号機周辺	約1～830 (2018.12)	Cs134: ND～2.3E1 Cs137: 7.0E0～2.7E2 全β: 5.4E1～7.2E2 H3: ND～1.7E3 (2018.11～2019.1)	量及び放射性物質濃度の内訳は添付資料(1)「2018年度トレンチ等内溜まり水調査結果一覧」を参照
29	1～4号機サブドレンビット No.15,16(未復旧ビット)	・サブドレンビットNo.15,16	1～4号機周辺 「未復旧」	約20	No.16 Cs134: 1.2E5 Cs137: 1.8E6 全β: 2.1E6 H-3: 6.1E4 (2019.7.19) 9.3E4 1.5E6 1.8E6 1.8E4 (2019.9.11)	
30	その他1～4号機サブドレン(ディーブウェル含む)(未復旧ビット)	・1号機～4号機サブドレン	1～4号機周辺 「未復旧」	約15/ビット	No.47,48 Cs134: ND～3.9E1 Cs137: 4.8E1～9.6E1 全β: 7.9E1～2.8E2 H-3: ND (2014.11.10)	

汚染水等構内溜まり水の状況（2019.10.24時点）

リスク総点検より抜粋・改訂

No.	箇所	対象	場所	量(m³)	放射性物質濃度[Bq/L]	備考
31-1	1～4号機逆洗弁ビット	・1号機逆洗弁ビット ・2号機逆洗弁ビット ・3号機逆洗弁ビット ・4号機逆洗弁ビット	1～4号タービン建屋海側	(1号機逆洗弁ビット) 約300 (2018.12.17) (2号機逆洗弁ビット) 約900 (2018.12.21) (3号機逆洗弁ビット) 0 (2019.3.28) (4号機逆洗弁ビット) 約1400 (2018.12.12)	(1号機逆洗弁ビット) (2018.12.17) Cs134: 1.4E3 Cs137: 1.7E4 全β: 2.0E4 H3: 1.6E2 (2号機逆洗弁ビット) (2018.12.21) Cs134: 3.9E1 Cs137: 5.0E2 全β: 5.8E2 H3: 1.6E2 (3号機逆洗弁ビット) (2018.12.12) Cs134: 6.5E2 Cs137: 7.5E3 全β: 8.8E3 H3: 1.0E3 (4号機逆洗弁ビット) (2018.12.12) Cs134: 6.7E1 Cs137: 8.2E2 全β: 1.0E3 H3: 1.2E2	3号機逆洗弁ビットの水抜き・充填済
31-2	1・4号機吐出弁ビット	・1号機ポンプ室循環水ポンプ吐出弁ビット ・4号機ポンプ室循環水ポンプ吐出弁ビット	1～4号タービン建屋海側	【1号吐出弁ビット】 0 (2015.11) 【4号吐出弁ビット】 0 (2015.10)	【1号機吐出弁ビット】 — 【4号機吐出弁ビット】 —	水抜き・充填済
32	1号機放水路 (出口を閉塞済)	・1号機放水路 (出口を閉塞済)	1～4号タービン建屋海側	約4200 (2018.12.17)	【放水路上流側立坑】 (2019.9.18) (2019.10.23) Cs134: 2.5E1 5.5E2 Cs137: 4.6E2 7.6E3 全β: 6.5E2 9.4E3 H3: ND 2.4E2	
33	2号機放水路 (出口を閉塞済)	・2号機放水路 (出口を閉塞済)	2～4号機タービン建屋海側	約3600 (2018.12.14)	【放水路上流側立坑】 (2019.9.18) (2019.10.23) Cs134: 1.2E2 1.4E2 Cs137: 1.8E3 2.2E3 全β: 2.2E3 2.8E3 H3: ND ND	
34	3号機放水路 (出口を閉塞済)	・3号機放水路 (出口を閉塞済)	3～4号機タービン建屋海側	約1600 (2018.12.17)	Cs134: 3.3E1 4.1E1 Cs137: 5.6E2 6.0E2 全β: 7.2E2 7.1E2 H3: 1.9E2 2.1E2 (2019.9.4) (2019.10.9)	
35	キャスク保管建屋	・キャスク保管建屋	物揚場 西側	約4500	Cs134: 7.2 Cs137: 23 I-131: <4.3 Co-60: <4.2 全γ放射能: 3.1E+1 (2014.5.23)	
36	5号CSTタンク (溶接タンク)	・5号CSTタンク (溶接タンク)	屋外(建屋エリア)	約1100 (2019.7.10)	(2019.8.21) (2019.9.19) Cs134: ND ND Cs137: ND ND Co60: 4.5E2 4.3E2	プラント保有水を貯留 (プラント系統として運用 中のため量は変動する)
37	6号CSTタンク (溶接タンク)	・6号CSTタンク (溶接タンク)	屋外(建屋エリア)	約1700 (2019.7.10)	(2019.9.12) (2019.10.10) Cs134: ND ND Cs137: ND ND Co60: ND ND	プラント保有水を貯留 (プラント系統として運用 中のため量は変動する)
38	5/6号他 トレンチ	・5号機海水配管トレンチ ・5・6号機スチームドレン配管トレンチ ・5号機重油配管トレンチ(東側) ・5号機放射性流体用配管ダクト ・5号機主変圧器ケーブルダクト 等	5～6号機周辺	約1～1900 (2015.10～2016.1)	Cs134: ND～2.2E2 Cs137: ND～9.9E2 (2015.10～2016.1)	
39	5, 6号機サブドレン	・5,6号機サブドレンビット	5～6号機周辺 ※「復旧対象」	約15/ビット	Cs134: ND Cs134: ND～3.5 全β: ND～4.8 H-3: ND～140 (採水期間: 2017.10～2018.3)	

汚染水等構内溜まり水の状況（2019.10.24時点）

リスク総点検より抜粋・改訂

No.	箇所	対象	場所	量(m³)	放射性物質濃度[Bq/L]	備考
40	キャスク保管建屋サブドレン	・キャスク保管建屋サブドレン	物揚場 西側	約15/ビット	Cs134:1.0E+1 Cs137:1.4E+1 Co-60:<6.0E-01 全γ放射能:2.4E+1 (2012.1.18)	
41	SPTタンク(1～4号)(A) (溶接タンク)	・SPTタンク(1～4号)(A) (溶接タンク)	SPT建屋	約2800 (2015.3.25時点)	Cs134:8.0E+4 Cs137:1.6E+5 Co60:6.5E+2 (2013.8.27)	プラント保有水等を貯留
42	集中ラド周リサブドレン	・集中ラド周リサブドレン	主プロセス建屋等 各建屋周辺	約15/ビット	Cs134:ND Cs137:ND～6.3E1 (2019.9.19) ND ND～5.3E1 (2019.10.23)	
43	メガフロート	・メガフロート	港湾内	約5900 (2019.9.12) 約4700 (2019.10.24)	No.5VOID Cs134:ND Cs137:2.7 Sr90:ND H3: ND (2017.2.16)	バラスト水を貯留 水抜き実施中
44	純水タンクNo.1	・純水タンク	屋外(建屋エリア)	約850	Cs134:2.1 Cs137:7.2 全β:12.2 H-3:ND (2015.5.29)	震災後、坂下ダム補給水を貯留
45	5/6号機建屋滞留水	・5/6号機建屋滞留水	5～6号機	約7,400 (2019.9.12時点)	【5号機】 Cs134:ND Cs137:ND H3: ND 全β: ND (2019.8.9) ND ND ND ND (2019.9.5) 【6号機】 Cs134:ND Cs137:3.5E0 H3: 1.7E2 全β: ND (2019.8.19) ND 2.1E0 1.5E2 ND (2019.9.12)	
46	排気筒ドレンサンプビット	・1/2号排気筒ドレンサンプビット ・3/4号排気筒ドレンサンプビット ・5/6号排気筒ドレンサンプビット ・集中Rw排気筒ドレンサンプビット	1～4号機周辺 5/6号機周辺	1/2号サンプビット 約0.3※ 3/4号サンプビット 約2 5/6号サンプビット 約5 集中Rwサンプビット 約10 ※適宜溜まり水の移送を実施	【1/2号サンプビット】 (2019.3.5) 全β:2.8E7 Cs134:1.4E6 Cs137:2.0E7 【3/4号サンプビット】 (2016.3.17) 全β:1.3E3 Cs134:2.4E2 Cs137:1.1E3 【5/6号サンプビット】 (2015.9.16) 全β:7.6E1 Cs134:1.2E1 Cs137:4.7E1 【集中Rwサンプビット】 (2015.12.17) 全β:7.6E2 Cs134:1.5E2 Cs137:6.6E2	
47	固体廃棄物貯蔵庫(6～8号棟)	固体廃棄物貯蔵庫(6～8号棟)	固体廃棄物貯蔵庫 (6～8号棟)	約200	Cs-134:ND Cs-137:5.3E+1 全β:4.8E+1 (2017.11.10)	
48	5,6号機海側屋外既設タンク	SPTタンク(5～6号)	物揚場 北側	<タンク> 約430 (2019.9.17) 約40 (2019.10.24) <雨仕舞> 約200 (2019.1.10) 約180 (2019.10.24) <ポンプ室> 約60 (2019.1.10)	<タンク> Cs134:ND Cs137:6.2E1 全β:1.5E2 H-3:2.9E3 Co60:4.9E1 (2019.1.10) <雨仕舞> Cs134:ND Cs137:3.3E1 全β:3.4E1 H-3:1.1E3 (2019.1.10) <ポンプ室> Cs134:ND Cs137:1.8E1 全β:1.5E1 H-3:1.5E3 (2019.1.10)	プラント保有水等を貯留 水抜き実施中